

**RRR 環境大臣賞(1件)**  
Reduce Reuse Recycle

<b>環境大臣賞</b> 「事業所・地方公共団体等」分野	受賞者名 <b>京都市ごみ減量推進会議</b>
	所在地 <b>京都府京都市伏見区</b>
	受賞テーマ <b>手を取りあってごみを減らそう！市民・事業者・行政のパートナーシップによるごみ減量</b>

受賞者は、市民、市民団体、事業者、事業者団体、ごみ問題の専門家、京都市などが対等の立場で参画し、お互いの立場を理解しながら、自発性とパートナーシップを基本として、ごみ減量に関する意識の高揚化を図るとともに、地域でのごみ減量に関する自主的な取り組みを促進することにより、京都市のごみを減らし、環境を大切にしまちと暮らしの実現に寄与することを目的に、平成 8 年 11 月に設立した集まりである。

設立以来 20 年にわたって、ごみ減量に関する普及啓発活動や 2R に関するモデル実施などに取り組んでいる。

特徴として、会員団体をはじめとする他団体との連携で活動を進めており、特に地域におけるごみ減量を推進させるため、地域の方と学区単位で「地域ごみ減量推進会議」を立ち上げ、各地域における使用済てんぷら油回収や、古紙等のコミュニティ回収などを促進している。現在、全市の 9 割にあたる 193 学区において設立されており、地域のごみ減量活動の中心団体として活動が広まるよう、情報提供や情報交換の促進を図っている。

取組の中心となる普及啓発活動は、従来からの HP、会報誌による情報発信、講座・ワークショップの開催に加え、近年はラジオの番組の中で「コンパクトライフで、ごみ減量」というコーナーを持ち、ごみの減量及び 2R に関して放送したほか、特定のテーマに関連する様々なごみ減量に繋がる講座やワークショップを一斉に体験できるフェスティバルを開催している。平成 27 年度に実施した「布フェス in 京都」では、京エコロジーセンターを会場として、42 の団体及び企業の協力のもと、糸をつくる体験・服の原料の展示・最新の繊維に触れる実演・衣服が廃棄される現状の展示・プロに聞く衣服との付き合い方・ふるしきの活用方法・不要になった布地のリメイク体験・最新の繊維リサイクルなどの展示・体験ブースを設け、約 900 人の来場者があった。

また、平成 19 年度以降は 2R に力を入れ、2R 型エコタウン構築という大きなテーマのもと、様々な実験的モデル事業を実施し、2R 行動をいかにわかりやすく啓発し、人々に実践してもらえるか工夫を重ね、利用しやすい HP 検索サイトなどのツールの提供や、商店街などの地域コミュニティや地域の方々との連携に繋げている。

さらに、製紙会社の協力のもと京都市内の市立小中学校において児童・生徒が飲んだ学校給食の牛乳パックをトイレットペーパー「めぐレット」へとリサイクルする事業で、年間約 100～180 トンの牛乳パックを回収している。また、秘密書類回収サービスにより、市域の団体・企業から排出される年間 800～900 トンの秘密書類を溶解処理し、板紙へとリサイクルしている。

今後は、特徴である市民・事業者・行政のパートナーシップを活用した様々な先駆的な取組に挑戦し、その成果・効果を広く全国に発信し、ごみ減量・2R 取組を推進する予定である。

